



協 自 自
調 律 主

次代を担う若人

筑 西

久留米市立筑邦西中学校
学校だより 4-23号
令和5年1月10日
文責 校長 古賀 一英

3学期始業式において

～「ぼくたちはなぜ、学校へ行くのか」を読んで～

2学期の終業式で、「自分で考え、判断し、行動する」ことができるように、たくさんのお話を聞いてきたことについて話しました。

3学期の始業式にあたって、お正月に読んだ本の「ぼくたちはなぜ、学校へ行くのか」について話をします。

この本は、2学期最後の学校だより22号でも紹介をした、本校3年生の上野和奏さんが青少年読書感想文全国コンクール福岡県審査で特選に選ばれた時のものです。題名を見て、興味がわいたので読んでみました。

著者である石井光太さんが、マララ・ユスフザイさんの国連演説から考えたことを書いています。マララさんは、知っている人も多いと思います。2012年、女子が学校へ行くことを禁止した武装グループを批判して、下校途中にその武装グループに銃撃されました。奇跡的に命が助かった方です。

マララさんは、2013年に国連で演説を行い、「銃ではなく、本とペンを。戦場ではなく、学校を。」「わたしたちが教育によってことばをもち、平和な世界を求めて、ともに歩みはじめれば、だれもそれを止めることはできません。教育が世界を変えるための解決策です」と訴えました。そのことを聞いた、石井さんは、世界の子供たちの悲惨な状況だけでなく、日本の中でも当たり前のように学校に行くことができているように見えているが、実は貧しさや差別、虐待やいじめなどに苦しんでいる子ども達がいることを考えました。そして、このような状況をなくすためには、「戦争はいけない」、「差別はいけない」と言うだけでなく、「人にわかってもらえるようなことばにして伝えなければいけない」と思いました。この本のタイトルである「ぼくたちはなぜ、学校へ行くのか」の答えが、最後に書かれていて、みんなで一生懸命に勉強して、「自分の言葉で考え、自分の言葉で気持ちを伝えることを少しずつでいいから試してくれたらうれしい」、「すべての人が生きていて楽しいと思える世のなかをいっしょにつくっていきましょう」と記されています。

みなさんは、「なぜ学校に行くのか」、「なぜ勉強をするのか」など考えたことがありますか。入試が間近に迫った3年生は、「高校に合格するため」と答えてくれると思います。それも3年生にとっては大切な答えです。答えは、人それぞれの年齢や立場や状況によって変わってくると思います。大切なことは、「なぜ学校に行くのか」、「なぜ勉強をするのか」を各自が考え、自分としての答えを見つけること、そして、そのために真剣に努力をすることだと思います。そして、石井さんも言うように、その答えを考え見つけ、真剣に努力する場所が学校なのです。それが、皆さんにとっては、この筑邦西中学校です。

今から始まるこの3学期に、みなさん一人ひとりが、真剣に「なぜ学校に行くのか」、「なぜ勉強をするのか」を考え、努力してくれることを期待しています。また、先生たちも一緒に考え、皆さんの努力を全力でサポートしていきます。共に、頑張りましょう。



久留米ユニセフ協会に募金しました

12月19日（月）に、本校のかがやき学級が実施した「かがやき商店」の取組で得た収益を、久留米ユニセフ協会に直接行き、募金をしました。

「かがやき商店」とは、授業のひとつとして、自分たちでものづくりを行い、その商品を相手に説明し販売することを通して、コミュニケーション力の育成や経済活動について学ぶ機会を設定した取組です。その収益の使い方について、生徒たちで協議した結果、アフリカで困っている子どもたちの役に立ちたいという思いに達したことから募金をする事となりました。

その時の様子について、久留米ユニセフ協会のホームページに掲載されていますので紹介をします。



うれしい募金が届きました

日時 2022年12月19日（月）13:30～

会場 久留米ユニセフ協会事務所

久留米市立筑邦西中学校の生徒さんが、寒い中、事務所に募金を届けてくださいました。手作りの作品を「かがやき商店」で販売し、その益金をユニセフへ募金してくださいました。アフリカの子どもたちの窮状を知り、役に立ちたいとの思いでユニセフへの募金を決めたとのことでした。

サハラ砂漠以南の子どもたちの様子を紹介し、ともに学びの時を持ちました。有難うございました。
※久留米ユニセフ協会HPより転載

1600年の歴史 『鬼夜』！

1月7日（土）玉垂宮にて、3年ぶりに『鬼夜』が開催されました。6本の大松明が炎を上げて境内を移動する姿は圧巻でした。

その、大松明廻しや太鼓、鐘打ち役として、たくさんの本校生徒が参加をしていました。1600年続いた歴史を繋ぐために大きな役割を担ってくれたことにたいへん感動をしました。

『鬼夜』を開催していただいた玉垂宮の関係者の皆様には心より感謝を申し上げます。



謹んで新年のお慶びを申し上げます

コロナ禍ではありますが、3年ぶりの行動規制のないお正月となりました。たいへん穏やかな天気となり、家族でゆっくり過ごされたのではないかと思います。

今日は3学期の始業式となりました。3学期は、3年生の卒業や1・2年生の進級等、次の段階へと進む大切な時期となります。

今年も、教職員一同、力を合わせて生徒たちを支援していきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

